



校長室だより 1月

SDGs と授業づくり

第3学期がスタートして間もなく3週間になりますが、新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。27日からは、学校の対応レベルが3となり、感染対策を取りながら、体調管理をしながら、学級での活動を中心に学習を進めています。

今月は、最近よくテレビや新聞でも取り上げられている“SDGs”（国連が定めた17の持続可能な開発目標）と関連付けた授業づくりの様子をお届けします。



【開発目標 12 つくる責任つかう責任】

「空とぶ車いすボランティア活動」

この活動は、不要になった「車いす」を、整備・再生して「車いす」が不足しているアジア諸国の子どもたちや高齢者の皆さんに届ける「ボランティアリレー」です。

高等部の生徒たちが、不要になった「車いす」を集め、分解作業を行い、修理・修繕の活動に取り組みました。

過日、生徒たちが、校長室に完成した「車いす」を持参し完成の報告がありました。生徒たちは、この活動を通して、地域へ貢献する気持ちを育んだようです。



【開発目標 10 人や国の不平等をなくそう】

「高等学校との交流及び共同学習」

福島工業高校建築科の生徒が本校に来校しました。本校の生徒は、本校の校舎の「ユニバーサルデザイン」について紹介しました。本校は、肢体不自由がある児童生徒が学ぶ学校です。誰もが歩きやすい広い廊下、誰もが使いやすいトイレ、誰もが使いやすいドアなどたくさんの施設が整っています。福島工業の生徒にとってはユニバーサルデザインを学ぶ機会、本校の生徒にとっては本校のよさを再確認する機会となりました。



その外にも、理科の授業では、【13 気候変動に具体的な対策を】を意識した、「川の流れ」や「気候」についての学習も進められています。そしてなにより、感染対策をしっかり行いながら、【開発目標4 質の高い教育をみんなに】を心がけ、子どもたちにとって学びの多い授業づくりを行っていきたいと思います。

令和4年1月 福島県立郡山支援学校 校長 齊藤 恵子

